



LONGIN

We create in Tokyo Japan since 2011

WEB MAGAZINE Vol.

25

72517-7
WAVEYBOO
SHIMANO FISHING GEAR

137mm 48g Floating

実寸大



対大型魚専用

実寸大



HI-STANDARD

150mm 34g Floating

**LONGIN. がランカーハンターに贈る
2つの新たなルアーがこの秋新登場!**

ランカーシーバスを 捕る秘訣!

アングラー憧れのビッグワンを釣るために知っておきたい

シーバスゲームをやっているからには、やはり大きなサイズ
の魚を釣りたいもの。ここでは通年を通してランカーシーバ
スを多く釣っている小堺氏に、ランカーシーバスを捕るため
に必要な数々の要素を詳細に解説してもらった。



ランカーシーバスとは？

ランカーシーバス（以下ランカー）とは、一般的には80cm以上のスズキのことを指します。スズキ（マルスズキ）が80cmになるまでは、生まれてから十数年かかると言われており、また、全てのスズキが80cmまでに育つとは限らないことから、このサイズの魚は希少です。

そんな希少なランカーを釣りたいと思うのが、私たちシーバスアングラーの、一つの目標と言われています。

シーバスフィッシングを始めて、何年もランカーが釣れない人、逆に始めて間もないのにいきなりランカーを釣ってしまう人、メーターオーバーを手にしてしまう人



釣りをする上でサイズはほぼ運と思われがちだが、ランカーを数多く釣るためには運以外の要素も重要になってくる。

など……。単に運が良かった！ タイミングが良かった！ と思ってしまうことがあるのがシーバスフィッシングです。特にランカーに限っては、運が約半分を占めているかもしれません。しかし、運任せだけではランカーを釣り続けることは無理ですよね。運が半分としても、残りの半分はやはり我々アングラーが考える、努力することが、ランカーゲットへの近道と言えるでしょう。

ランカーはどこにいるのか？

イワシなどのベイトフィッシュに着いて回遊しているときなどは除き、ランカーはそのポイントの一級ポイントにステイしていることが多いと私は考えています。

例えば、河川なら岩などのストラクチャー、流れのヨレ、ブレイクライン、

瀬尻などの深みなどがそうです。外海のサーフではブレイクライン、カレント、ストラクチャーなど。ここで大事なのが前に述べた変化が交わるエリア、すなわちブレイクライン上のストラクチャー+ヨレや、ブレイクラインにあるカレント、ストラクチャーという所が『一級ポイント』になります。

一級ポイントは、身体の大きいランカーが身を隠し泳力を使わずにステイでき、かつ、流されてきたベイトフィッシュを簡単に捕食できるポイントとも言えます。また、ベイトフィッシュ自体もそういった変化が複合するエリアに集まる習性があります。

しかし、ランカーは一級ポイントに必ずいるとは限りません。一級ポイントと言えども、ベイトフィッシュがいなければシーバスもいません。ベイトフィッシュがいたからと言っても、流れが弱すぎる、カレントが弱すぎる状況ではランカーはいません。釣れたとしてもセイゴに止まり、いいサイズと思っても70cmクラス止まりで終わってしまうことがほとんどです。要は、一級ポイントプラス α が必要となってくるのです。

プラス α とは、状況変化のこと。河川河口では雨による増水、濁り。サーフなどの外海では適度な波、濁りなどが必要です。一級ポイント+状況変化+ベイトフィッシュが噛み合ったときに、ランカーの出る、出やすいタイミングと言えるでしょう。

サイズによる捕食の違いは？

60cmくらいまでのシーバスは、盛んに小魚等のベイトフィッシュを追い回し捕食するのに対し、70～80cmと大きくなるにつれ、流されてくるベイトもしくは弱ったベイトを待ち構えて捕食する傾向が強くなります。では、80cmを超えるランカーをヒットさせるには、我々アングラー側はどうしたらよいのでしょうか？ それについて考えるのもランカーを狙う上での楽しいところです。

ランカーの居るポイントは？

いちばんの近道は、過去にランカーシーバスが釣れたことのあるポイントへ行くというのが最も確実でしょう。ここで大事なのが、季節・時間・水質・水位・潮周り・ベイトフィッシュ等のデータ。それらがあるとなおよいでしょう。ランカーは神出鬼没な面もありますが、同じ季節・時間等のシチュエーションに同じポイントに戻ってくるのがほとんどだからです。



沖でアカイ単発ボイルを発見し、グリード 30g をフルキャストして狙い撃ちしてキャッチした一匹！ 1本でもジグを忍ばせておくと、いざという時に重宝すること間違いなし♪

季節によるポイントとルアー選択

【冬～春】

シーバスの産卵は地域によって差はありますが、12月～2月頃の冬期に行われるとされています。冬から春は産卵後で体力も落ちているのですが、アフターのランカーを狙える季節でもあります。ポイントとしては、やはり河口域～河川下流が有力です。この時期に有効なのは、あまりプリプリ動く（動かす）ルアーではなく、ナチュラルなアクションのものでしょうか。代表としてプレックス、レビンなどのシンキングシンベル系。キックビートなどのバイブレーションは波動を出さずに流し込む感じで使い、全てのルアーに共通して言えることですが、一級ポイントへ動かすすぎないようにランカーの鼻先へ持っていくことがヒットに繋がります。

【夏】

初夏にはベイトフィッシュも多くなり、シーバスも産卵から回復してベイトを追い回すようになります。しかし、活性の高い小型～中型のシーバスが多いため、ランカーは混じる程度になってしまいます。



試行錯誤して色々投げ倒したあとに、メガプレックスを通してズドン！まさに最終兵器と呼べるルアーだ。

トリトリブを入れたり、メガプレックスの独特な波動を入れたりすると良い結果がでることが多いですね。

河川中流域はフランキーをメインにレビンも使っていきます。フランキーは中流域の起伏の激しい強い流れに敏感に反応し、かつ喰わせの間も作ってくれる河川中流域のランカーに強いルアーです。

【秋から初冬】

秋は産卵を控えたシーバスたちが荒喰いをする、もっともランカーに近づきやすい季節です。この時期は魚のコンディションもよいので、強烈な引きを味わえます。秋のシーバスに欠かせないのが河川の落ち鮎、河口海岸などのコノシロ、サヨリといったベイトフィッシュの存在。これらに着いたシーバスが、ランカーの確率を上げてくれます。

秋から初冬にかけてはベイトフィッシュも大きくなるので、シーバスも小さいルアーより大きめのルアーへの反応がすこぶる良くなります。また、ボトムや中層よりも、水面下、50cmくらいまでのサーフェイスへ反応が良いのも特徴と言えるでしょう。

効果的なトリトリブアクションは？

シーバスフィッシングでは、ロッドアクション、ファストトリトリブ、ストップアンドゴーなど色々な釣り方があります。ジャークやトゥイッチな

どのリアクションで口を使わせる方法もあり、私もリアクションの釣りをします。

しかしランカーに限ってはスティディーリトリープがほとんどで、リアクションさせると言っても、数回チョンチョンとトゥイッチさせる程度でのヒットが大半を占めています。

ルアー別では、ロンジンのルアーで言うとグリード（メタルジグ）はミディアムリトリープ、キックビート（パイプレーション）は、スローからミディアムリトリープ、レビン、プレックス、メガプレックス（シンキング系）はデッドスローからスローリトリープ、フランキー（フローティングミノー）はデッドスローからスローリトリープでのランカーヒット率が高いです。

これらのリトリープで、『一級ポイント』で餌を待ち構えているランカーに確実に見せて喰わす。追わせて喰わすのではなく、ステイしているその場で喰わす様に心がける。そのほうがバラシが少なく、ガッチリ口にかかると私は考えています。

フランキーの喰わせの「フロートドリフトアクション」とは？

フランキーは120mm重量20gのフローティングミノーです。アクションはリトリープスピードに応じて、また、受ける潮流に応じて変化する可変アクションするミノーです。早くも発売から約3年が経ちますが、今なおランカーを魅了し続ける、私には必要不可欠なルアーになりました。

春のホタルイカから夏のリバーシーバス、秋の落ち鮎、サヨリ、初冬のコノシロと、一年を通して愛用しているルアーですね。春夏秋冬とベイトフィッシュは違いますが、共通してシー



バスに効果的なアクションがあります。それは『フロートドリフトアクション』です。

これは『一級ポイント』へ入った際に、ルアーの頭部からフワフワとゆっくり浮き上がりながら、フラフラしながら漂うアクション。純淡水域ではフワフワとサスペンドまたは超スローに浮き上がり、フラフラと漂います。このアクションは斜め浮きタイプのフランクイだからこそ出せるアクションで、私の実績からもこれが『一級ポイント』でステイしているランカーに思わず口を使わせるアクションなのだと思います。

フロートドリフトアクションの出し方はいたって簡単。『一級ポイント』までドリフトまたはリトリブさせていき、超デッドスローにするかリトリブを止めるとフワフラ〜とアクションします。浮いてきたらリトリブして潜らせ、また浮かせるを繰り返すだけ。河川のアップストリームでも、流速よりも少し早いくらいでリトリブしていけばアクションできます。

ランカーに対する注意点

ランカーは10年以上生きてきただけあって警戒心が強いので、プレッシャーをかけないことも大事です。一級ポイントが目の前にあるのに、ライトを照らす、ジャブジャブと入水するなど、人的プレッシャーをかけないことが重要です。(もちろん安全対策の場合は仕方ありません)。

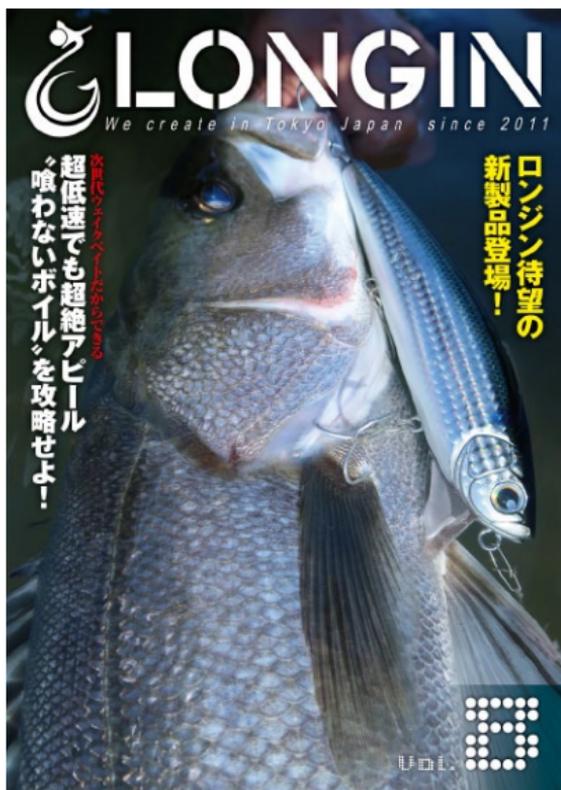
また、一級ポイントがあるからと、同じポイントヘルアーを見せすぎないように、休ませながら攻めるのも必要です。場所を休ませることによって、ポイントに着いていたベイトフィッシュを戻して、そのポイントをリセットさせる意味もあります。

ランカーを捕る秘訣について、私の考え方、攻め方、日頃から実践していることを書いてきましたが、ランカーを捕る秘訣はまだまだ未知数……。自分も含めて、運だけでなく確立したものにしたいですね。

LONGIN. が贈るフリーペーパー

ロンジンマガジン Vol.8

弊社製品取扱店にて好評配布中!



話題の新製品、ウェイキーブーを大特集したロンジンマガジン最新第8号が配布中!

ロンジンのルアーがどうやって生まれるのかを、開発者の伊藤とテスターの田口氏にインタビューしたスペシャル対談である、ウェイキーブーの開発秘話は必読! 田口氏によるウェイキーブーの使用方法も詳細に解説しています。

ロンジンマガジンは無料配布! 弊社ルアー取扱店全店で配布しているので、店頭に無かった場合は店員さんに聞いてみて下さい!

(弊社在庫があれば、お店へ送らせていただきます。)

ロンジンマガジンのご意見・ご感想もお待ちしております (HP アンケートよりお送り下さい)。

ロンジンマガジン Vol.8

配布価格: ¥0 (フリーペーパー)

版型: A5 版 32 ページオールカラー

発行: 株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中
(数に限りがありますので、品切れによる配布終了の際はご容赦下さい)



LONGIN

WE STRIVE TO Tokyo JAPAN since 2011

WEB MAGAZINE Vol.26

発行日：2017年10月12日

株式会社 LONGIN.